

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月1日

上場会社名 株式会社 キムラ
 コード番号 7461 URL <http://www.kimuranet.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 勇介

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 新榮 功明

TEL 011-721-4311

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	22,249	2.0	1,365	△6.0	1,376	△5.2	614	△4.2
27年3月期第3四半期	21,819	△3.3	1,453	△9.9	1,451	△8.8	642	△11.7

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 798百万円 (△16.4%) 27年3月期第3四半期 955百万円 (△4.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	41.45	—
27年3月期第3四半期	43.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	18,050	10,983	50.5
27年3月期	17,157	10,333	50.4

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 9,108百万円 27年3月期 8,644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,180	2.7	1,510	3.3	1,500	3.2	650	0.5	43.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	15,180,000 株	27年3月期	15,180,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	347,124 株	27年3月期	347,124 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	14,832,876 株	27年3月期3Q	14,832,936 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日本銀行による経済・金融政策の効果により、好調な企業業績を背景に引き続き回復基調にあります。しかしながら中国経済の成長鈍化や新興国経済の減速に加え、中東情勢の混乱など先行きに対する不安を払拭できない状況が続いております。個人消費は、名目賃金の上昇や雇用の改善などから持ち直しの動きが見られますが、エネルギー以外の物価上昇圧力は強く、消費者の節約志向も高まっており、本格的な回復には至っておりません。

このような状況のもと、当社グループの主要事業である卸売事業においては、モデル住宅を活用した工務店営業支援による需要の掘り起こしを進め、小売事業においては、主力大型店の改装による魅力ある売場づくりと特色あるイベント企画の開催による顧客の拡大に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 222 億 49 百万円(前年同四半期比 2.0%増)、営業利益 13 億 65 百万円(同 6.0%減)、経常利益 13 億 76 百万円(同 5.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益 6 億 14 百万円(同 4.2%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(卸売事業)

住宅市場は、徐々に回復に向かっており、4月から11月までの新設持家着工戸数は全国で198千戸(前年同期比3.3%増)、北海道で8千戸(同3.2%増)とわずかながら前年を上回る水準で推移しております。このような状況のもと、輸入関連商品などの新商品の開発と販売強化、提案型モデル住宅「Skogのいえ」による需要の創出に努めてまいりましたが、円安による仕入原価の上昇や、運送費などの経費の増大により、売上高 90 億 63 百万円(前年同四半期比 4.5%増)、営業利益 7 億 42 百万円(同 1.7%減)となりました。

(小売事業)

個人消費の回復に伴いホームセンター業界も徐々に明るさを取り戻しつつありますが、そのペースは緩やかなものとなっており、とりわけ当社グループの市場である北海道においては、個人の消費マインドは依然として力強さに欠ける状況が続いております。このような状況のもと、大型店3店舗の大規模改装によるお客様の利便性拡大と、リニューアルセールや各種イベント企画による来店客数の増大に努めてまいりましたが、同業他社や他業種との競合による価格競争や、経費の増大により、売上高 125 億 1 百万円(前年同四半期比 0.1%減)、営業利益 7 億 6 百万円(同 8.5%減)となりました。

(不動産事業)

賃貸資産の運用により、売上高 1 億 53 百万円(前年同四半期比 0.6%減)、営業利益 1 億 2 百万円(同 11.6%増)となりました。

(足場レンタル事業)

旭川営業所の開設による営業基盤の拡大と、非住宅系の大型物件の受注により、売上高 5 億 31 百万円(前年同四半期比 11.9%増)、営業利益 94 百万円(同 0.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は180億50百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億92百万円の増加しております。これは主に、売上債権が6億80百万円、商品が5億58百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は70億66百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億42百万円増加しております。これは主に、借入金が増加した一方で仕入債務が8億67百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は109億83百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億50百万円増加しております。1株当たりの純資産は614円10銭となり、前連結会計年度末に比べて31円29銭増加しております。

なお、自己資本比率は50.5%（前連結会計年度末は50.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期（1月から3月）の業績は、当社グループの主力市場である北海道内においては、降雪等の気候変動の影響があることから通期での業績判断が難しいため、現時点において通期の業績見通しにつきましては、平成27年4月27日付「平成27年3月期決算短信」において発表しております平成28年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組換えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,916,794	1,581,284
受取手形及び売掛金	1,752,823	2,433,148
商品	2,442,703	3,001,608
販売用不動産	152,229	152,229
その他	331,296	323,092
貸倒引当金	△2,536	△3,437
流動資産合計	6,593,311	7,487,926
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,342,278	4,262,681
土地	2,420,343	2,419,361
その他(純額)	2,196,721	2,294,796
有形固定資産合計	8,959,343	8,976,840
無形固定資産	19,256	17,292
投資その他の資産		
その他	1,589,508	1,579,426
貸倒引当金	△4,054	△11,364
投資その他の資産合計	1,585,454	1,568,061
固定資産合計	10,564,054	10,562,194
資産合計	17,157,365	18,050,120
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,880,932	2,748,234
短期借入金	1,492,500	1,140,000
未払法人税等	332,083	319,795
賞与引当金	111,543	128,790
その他	665,453	644,979
流動負債合計	4,482,512	4,981,800
固定負債		
長期借入金	1,332,500	1,055,000
役員退職慰労引当金	37,730	37,730
退職給付に係る負債	223,433	234,340
資産除去債務	233,565	237,103
その他	514,272	520,782
固定負債合計	2,341,501	2,084,956
負債合計	6,824,014	7,066,756

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,500	834,500
利益剰余金	6,811,168	7,277,732
自己株式	△132,934	△132,934
株主資本合計	8,306,083	8,772,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189,808	187,175
繰延ヘッジ損益	△103	—
土地再評価差額金	148,982	148,982
その他の包括利益累計額合計	338,687	336,157
非支配株主持分	1,688,580	1,874,559
純資産合計	10,333,351	10,983,364
負債純資産合計	17,157,365	18,050,120

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	21,819,901	22,249,068
売上原価	16,491,490	16,873,325
売上総利益	5,328,410	5,375,742
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,563,020	1,638,509
賞与引当金繰入額	116,200	128,790
退職給付費用	22,365	31,813
貸倒引当金繰入額	363	1,953
その他	2,173,151	2,208,894
販売費及び一般管理費合計	3,875,101	4,009,960
営業利益	1,453,309	1,365,781
営業外収益		
受取利息	562	677
仕入割引	65,061	66,244
その他	25,764	30,767
営業外収益合計	91,387	97,689
営業外費用		
支払利息	32,425	22,421
売上割引	59,121	56,580
その他	1,621	8,030
営業外費用合計	93,168	87,032
経常利益	1,451,529	1,376,438
特別利益		
固定資産売却益	2,129	462
受取保険金	9,374	—
特別利益合計	11,503	462
特別損失		
固定資産除売却損	854	3,038
特別損失合計	854	3,038
税金等調整前四半期純利益	1,462,178	1,373,863
法人税、住民税及び事業税	616,823	593,858
法人税等調整額	△12,080	△20,748
法人税等合計	604,742	573,110
四半期純利益	857,436	800,753
非支配株主に帰属する四半期純利益	215,399	185,859
親会社株主に帰属する四半期純利益	642,036	614,893

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	857,436	800,753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96,438	△2,613
繰延ヘッジ損益	1,232	202
その他の包括利益合計	97,670	△2,411
四半期包括利益	955,106	798,341
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	739,099	612,363
非支配株主に係る四半期包括利益	216,007	185,978

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売事業	小売事業	不動産事業	足場レンタル 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	8,671,105	12,519,600	154,071	475,123	21,819,901
セグメント間の内部売上高 又は振替高	484,571	4,556	16,992	—	506,119
計	9,155,677	12,524,156	171,063	475,123	22,326,021
セグメント利益	755,534	771,627	92,210	93,710	1,713,083

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,713,083
セグメント間取引消去	△5,737
全社費用(注)	△254,036
四半期連結損益計算書の営業利益	1,453,309

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	卸売事業	小売事業	不動産事業	足場レンタル 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	9,063,071	12,501,414	153,125	531,456	22,249,068
セグメント間の内部売上高 又は振替高	437,472	3,294	20,412	—	461,178
計	9,500,543	12,504,708	173,537	531,456	22,710,246
セグメント利益	742,936	706,394	102,885	94,141	1,646,357

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,646,357
セグメント間取引消去	△1,870
全社費用（注）	△278,705
四半期連結損益計算書の営業利益	1,365,781

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。